

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

## I 事業属性

事業名	シニアワークカレッジ運営事業					事業コード	660114				
政策体系	基本政策	7 市民一人ひとりが、生活と仕事の調和の取れた、多様な働き方が活かされるまち				政策目標	1 働く意欲を支える支援制度の充実				
	施策名	1 スキル取得やキャリア形成の機会の創出				施策コード	711				
事業担当	所属	03030000 市長公室 大学政策課				所属長	谷口 学				
会計情報	款	10 教育費	項	07 大学費	目	01 大学振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	246	頁
計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中	
根拠法令等											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
関連事業											

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	地方における労働力不足の課題に対応するため、企業や事業所におけるデジタルトランスフォーメーション(DX)とシニア世代等の更なる活用を促すために、「シニアワークカレッジ」を開設し、市内企業・事業所の従業員にリカレント教育(学び直し)によるスキルアップとIT人材育成を通じた事業所のDX支援に繋げる。										
対象者	市内在住または市内事業所勤務者				対象者数	37,476		単位あたりコスト	0.1		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
委託先・実施主体等	公立大学法人福知山公立大学										
事業概要 (箇条書き)	福知山公立大学の知見を活用しAIやデータサイエンスなどビジネスの現場で活用できる情報学講座を福知山公立大学に委託して実施。 【令和3年度実施プログラム】 ・データサイエンスコース:14人 ・DX人材育成コース:11人 ・AI人材育成コース:3人										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容							
	報償費	429		学生アルバイト謝礼							
	需用費	11		消耗品費							
	委託料	1,100		シニアワークカレッジ業務委託料							

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	0	1,700	3,000	2,000				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	0	1,700	3,000	2,000					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	1,000				
	② 国支出金	0	850	1,500	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	850	1,500	1,000				
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	0	1,700						
	③ 執行額	0	1,540						
	④ 執行率	0.0%	90.6%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.00 / 0.00	0.26 / 0.20	0.26 / 0.20	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	0	2,580	2,580	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	4,120	2,580	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	「知の拠点」推進事業(地方創生推進交付金)	種類	教育費国庫補助金	実績金額	770	決算付属資料	22	頁
		「知の拠点」推進事業基金繰入(ふるさと創生)		基金繰入金		770		38	

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	受講者のキャリア開拓件数	件	/	/	/	0 / 1	/ 1
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	講座受講者数	人	/	/	28 / 30	/ 30	30
	単位あたりコスト		/	/	55.0		
	単位あたりコスト		/	1 /	/		

シニアワークカレッジ運営事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業実施に先立ち事業者からヒアリングを実施するなど、参加者のニーズの把握に努めた。</li> <li>令和3年度は、データサイエンスコース、DX人材育成コース、AI人材育成コースの3コースを実施し合計28名が受講し、福知山公立大学情報学部の知見を活用し、ビジネスで役立つ最新の情報技術を学んだ。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国の財源(地方創生推進交付金)を活用し、一般財源負担を最低限に抑えている。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>福知山公立大学情報学部の知見を活用し、ビジネスで役立つ最新の情報技術を学んだ。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビジネスチャットツール(Slack)を活用し、講座開催日当日だけでなく普段から参加者同士や講師との意見交換を実施したこともあり、事後に実施したアンケート調査では、講義内容だけでなく人脈作りなどの面で参加者の満足度も高かった。</li> <li>幅広い年齢層の参加があり、シニア世代の参加者も増加傾向にある。</li> </ul>		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加者同士の交流の場を設けるなどの取り組みを実施する。</li> <li>参加者及び事業所の声を聞き、参加したことによる業務成果等の把握や、フォローを実施する。</li> </ul>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	シニアワークカレッジの参加者や市内の事業者へのヒアリングを行うなど、ニーズ把握を行いビジネスの現場で活用できる講座を継続し、高度情報人材を育成する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合      (統合事業名: — ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合      (統合先事業名: — )
--------	---

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	ひとり親家庭自立支援給付金事業					事業コード	430398					
政策体系	基本政策	7 市民一人ひとりが、生活と仕事の調和の取れた、多様な働き方が活かされるまち				政策目標	1 働く意欲を支える支援制度の充実					
	施策名	1 スキル取得やキャリア形成の機会の創出				施策コード	711					
事業担当	所属	15010000 福祉保健部 子ども政策室				所属長	村上 五十鈴					
会計情報	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費		会計	01 一般会計	決算付属資料	102	頁
計画期間	開始年度	平成19年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	福知山市高等技能訓練促進給付金事業実施要綱他											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業												

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	ひとり親家庭の親が就業に結びつきやすい技能やスキルの取得、キャリア形成ができるよう給付金を支給する。											
対象者	ひとり親家庭自立支援事業利用者				対象者数	7		単位あたりコスト	1,261.0			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等	-											
事業概要 (箇条書き)	(1)高等技能職業訓練促進給付金 就業に結びつきやすい資格(看護師、准看護師など)を取得するための養成機関に修学中、生活の負担を軽減するために支給 修学支援金 非課税世帯月100,000円課税世帯月70,500円、最終年度40,000円加算あり 修了一時金 非課税世帯50,000円課税世帯25,000円 (2)自立支援教育訓練給付金 教育訓練の受講のために支払った費用の60%(上限80万円)を支給											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容								
	扶助費	8,007		自立支援給付金								

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	5,787	10,378	7,242	13,722					
	② 補正予算	0	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0	0					
小計(①~③)	5,787	10,378	7,242	13,722						
予算財源内訳	① 一般財源	1,447	5,664	1,811	4,331					
	② 国支出金	4,340	4,714	5,431	9,391					
	③ 府支出金	0	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	2,604	△ 2,371							
	② 配当予算	8,391	8,007							
	③ 執行額	8,391	8,007							
	④ 執行率	100.0%	100.0%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.10 / 0.16	0.04 / 0.20	0.04 / 0.20	0.00 / 0.00					
	② 概算人件費	1,200	820	820	0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	9,591	8,827	820	0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	母子家庭等対策総合支援事業		種類	民生費国庫補助金	実績金額	6,616	決算付属資料	18	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	制度利用者の就職率	%	100 / 100	100 / 100	100 / 100	100 / 100	/ 0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	制度利用者数	人	11 / 10	8 / 7	7 / 8	/ 0	0
	単位あたりコスト		656.9	1048.9	1143.9		
	単位あたりコスト		/	3 /	/		ひとり親家庭自立支援給付金事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の実施要綱に基づき実施</li> <li>・就業に有利となる資格取得を促進する制度として、大変有効であり、ニーズは高い。</li> <li>・ひとり親家庭の親の就業に結びつきやすい資格の取得を促進し、経済的自立を図るためには必要。</li> <li>・給付人数 7人</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所得制限や世帯の課税状況から支給額が設定されている。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひとり親家庭の親の技能習得や就労支援として、有効な事業である。</li> <li>・成果目標については、達成されている。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7人の方が制度を利用し看護師資格等の取得をめざされている。取得後は資格を生かして就職され、経済的自立や看護師不足の解消に寄与している。</li> <li>・国の制度では4年間給付金が支給されるようになったが利用されている方のほとんどが、貸し付けを受けて就学しており経済的負担が大きく生活も苦しい。</li> </ul>		
改善策	特に看護学校に就学中は経済的負担が大きいと考えられることから、令和4年度に市単費上乘せ制度を検討し、令和5年度予算を検討中。		

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	国の給付要綱に基づく事業であるため、現行のとおり給付金を支給をする。令和5年度は、国の給付金に市単独事業で上乘せを検討する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合      (統合事業名: — ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合      (統合先事業名: — )
--------	---

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	ふるさと就職おうえん事業					事業コード	320207					
政策体系	基本政策	7 市民一人ひとりが、生活と仕事の調和の取れた、多様な働き方が活かされるまち				政策目標	1 働く意欲を支える支援制度の充実					
	施策名	1 スキル取得やキャリア形成の機会の創出				施策コード	711					
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課				所属長	山田 信義					
会計情報	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	178	頁
計画期間	開始年度	平成17年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業												

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	高校生をはじめとする若者の地元企業への理解と関心を高め、地元への定着と地元企業の人材確保につなげるとともに、福知山地域の事業所と求職者との出会いの場を創出することで雇用の安定を図り、持続可能な地域雇用を実現をめざす。											
対象者	市内事業所・就職希望者				対象者数	1,959		単位あたりコスト	4.2			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等	福知山雇用連絡会議、京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会、北京都ジョブパーク											
事業概要 (箇条書き)	・合同企業説明会を開催し、市内企業と一般求職者、UJターン希望者等とのマッチング機会を提供する。 (綾部・福知山合同企業説明会in京都、京都北部7市町合同企業説明会、福知山・綾部合同就職フェア、ふくちやま就職フェスタ など) ・高校生ワークショップを開催し、市内の高校生に地元企業を知る機会を提供する。 ・北京都ジョブパークとの共催で、常時、各種セミナーやカウンセリングを実施し、市民の就業とスキルアップを支援する。 ・新入社員合同研修、企業ガイド発行、公正採用啓発、人権ふれあいセンターでのパソコン講座、就職支援セミナー、個別就職相談会を開催。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	負担金補助及び交付金	3,560	福知山雇用連絡会議負担金、京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会負担金など									

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	2,923	3,411	3,355	4,734			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0	0			
	次年度繰越	0	0	0	0			
小計(①～③)	2,923	3,411	3,355	4,734				
予算財源内訳	① 一般財源	229	0	0	0			
	② 国支出金	114	473	445	679			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	2,580	2,938	2,910	4,055			
決算情報	① 流充用額	0	149					
	② 配当予算	2,923	3,560					
	③ 執行額	2,694	3,560					
	④ 執行率	92.2%	100.0%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.53 / 0.00	0.59 / 0.00	0.59 / 0.00	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	4,240	4,720	4,720	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	6,934	8,280	4,720	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	ふるさと就職おうえん事業(地方創生推進交付金)	種類	商工費国庫補助金	実績金額	547	18	頁
		ふるさと就職おうえん事業基金繰入		基金繰入金	2,893		38	

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	就職内定者数	人	36 / 40	21 / 40	18 / 40	/ 40	40
ワークショップ参加高校生数	人	184 / 150	276 / 150	78 / 150	/ 150	150	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	就職面接会参加企業数	社	429 / 160	235 / 160	322 / 160	/ 200	160
	単位あたりコスト		7.5	11.5	11.1		
	就職面接会参加者数	人	498 / 200	369 / 200	422 / 200	/ 390	200
単位あたりコスト		6.5	7.3	8.4			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<p>持続可能な地域の実現には、雇用の定着、促進、安定化が必要不可欠である。若者の都市部への流出や事業所の人材不足に加え、昨今では新型コロナウイルス感染症の影響により経済が停滞し有効求人倍率も低下するなど市内の雇用情勢は日々変動しており、これらに即応する多角的な支援が必要である。</p> <p>求職者のスキル向上をめざしたセミナーや事業所と求職者のマッチング機会となる大規模イベントの開催、各種制度紹介などによる定着支援を行うなど、国や府、商工会議所、商工会、長田野工業センター、シルバー人材センター等の関係機関が一体となって取り組んでいる本事業は必要性・優先度の高い事業である。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<p>関係機関で「福知山雇用連絡会議」を組織し、主に福知山市・ハローワーク福知山・京都ジョブパーク・福知山商工会議所の4つの機関が業務を分担し、効率的な業務の推進を図っている。</p> <p>また、府北部の総合就業拠点である「京都ジョブパーク」が福知山市内にあることから、共催により、市民の就業支援にあっている。</p>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<p>各種事業が効果的な取組となるよう、福知山管内の毎月の有効求人倍率や全国的な雇用情勢、事業所の動向などを「福知山雇用連絡会議」を構成する各機関で共有している。</p> <p>また、イベント開催時には、参加事業所に面談者における内定者人数の報告を求めており、各事業がどれほどの就職内定につながったかを正確に把握するよう努めている。同時に、参加者・事業所の両者にアンケートを行うことで両者のニーズを把握し、事業実施に反映させている。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>本市の求人倍率は京都府下でも高いポイントで推移しており、市内事業所にとっては人材不足が課題となっている。オンラインでの合同企業説明会や、コロナ対策をとった対面での就職イベントを開催することで求職者と事業所のマッチングを図っている。</p>		
改善策	<p>近年のイベント開催時には参加者数が参加事業所数を下回ることが多く、参加者数を増加させるための広報手段、事業内容の見直しが求められている。市内求職者に加え、市外からのUIJターン希望者にも魅力的な情報を届けられるよう、京都ジョブパークや近隣市、移住定住関連事業との連携をさらに深めていく。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>市内の求人倍率が高い水準で推移しており、地元企業の人材確保に関して厳しい状況が続いている為、地元企業の情報発信や就職イベントの開催とともに地元産業・地元企業について市内の学生への理解度を深めるなど幅広い雇用対策を講じていく必要がある。</p>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: — ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: — )
--------	---

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

## I 事業属性

事業名	NEXTふくちやま産業創造事業				事業コード	320211						
政策体系	基本政策	7 市民一人ひとりが、生活と仕事の調和の取れた、多様な働き方が活かされるまち			政策目標	1 働く意欲を支える支援制度の充実						
	施策名	1 スキル取得やキャリア形成の機会の創出			施策コード	711						
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課			所属長	山田 信義						
会計情報	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	178	頁
計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業	福知山市産業支援事業、起業おうえん事業											

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	コロナ禍による社会価値の変化を踏まえ、ニーズの変化に対応した新たな価値創造が必要となる中、この担い手となる新たな企業等の創出に取り組む。その過程で、地域内外の人や企業が繋がる「地域間ネットワーク」の構築と先進的企業の誕生、連携、集積という循環を地域主体が自律的に回す「地域エコシステム」を生み出し、先進的な企業をはじめとする多様な産業を福知山に集積させ、雇用の創出や雇用水準を高め、定住人口や交流人口、UIJターン人口の増加をめざす。											
対象者	事業者・創業をめざす者			対象者数	-			単位あたりコスト				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等	福知山公立大学											
事業概要 (箇条書き)	○機運醸成イベント「NEXT産業創造塾」開催 地域の「起業に挑戦する」風土を構築するため、先進地の講師を招聘し、先進事例に触れる機会を創出する。また、広く起業への機運醸成を図るとともに、地域間のネットワーク構築に繋げる。NEXT産業創造プログラムの周知も図るため、年二回程度開催する。 ○起業家人材育成プログラム「NEXT産業創造プログラム」開催(委託) 起業や企業内起業等をめざす人を対象に、起業に必要とされる高度な知識やスキルを修得できるよう本プログラムを実施し、社会人の学び直しを推進する。本プログラムを通じて先進的な企業や起業家との交流を生み出すことで、新たな産業の創出に繋げる。 <めざす人物像>アントレプレナー、イントレプレナー等 <カリキュラム>基礎科目、事例研究型科目、PBL型科目 <開催時期>8月上旬～2月上旬(年度末にピッチイベント開催) <募集定員>15名											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)			主な業務内容							
	役員費	3			郵送料							
	委託料	9,801			NEXTふくちやま産業創造事業運営業務を福知山公立大学に委託							
	使用料及び賃借料	2			高速道路等通行料							

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	0	10,295	12,107	12,101				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	0	10,295	12,107	12,101					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	307	458				
	② 国支出金	0	5,147	5,900	5,821				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	5,148	5,900	5,822				
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	0	10,295						
	③ 執行額	0	9,806						
	④ 執行率	0.0%	95.3%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.00 / 0.00	0.63 / 0.00	0.63 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	0	5,040	5,040	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	14,846	5,040	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	NEXTふくちやま産業創造事業(地方創生推進交付金)		種類	商工費国庫補助金	実績金額	4,900	20	頁
		NEXTふくちやま産業創造事業基金繰入			基金繰入金		4,905	40	

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	企業数・事業提携数・企業内起業数		/	/	21 / 0	/ 4	28
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	プログラム参加者数		/	/	22 / 15	/ 15	105
	単位あたりコスト				445.7		
	地域間ネットワーク数		/	7 /	1 / 1	N E X T ふ く ち や ま 産 業 創 造 事 業 / 1	5

	単位あたりコスト		9806.0	
--	----------	--	--------	--

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<p>本市がめざす7つのまちづくりの1つである「産業集積と技術革新のまちづくり」を実現するため、これから生まれる多様な産業を本地域に集積させ、雇用の創出や雇用水準の向上にも寄与する新たな企業や産業の育成に取り組む必要がある。そのために、福知山公立大学と連携し起業家人材育成プログラムや、起業に挑戦する機運を醸成するイベントを実施していく。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度NEXT産業創造プログラムでは、募集定員15名程度のところ、北近畿地域をはじめ遠くは東京都より22名の方々からの応募があり、最終ステップまで進まれた修了者20名が9つの新規事業を創出された。</li> <li>クラウドファンディングを活用しテストマーケティングを実施した受講者は、316名(うち市外応援者8割)から総額約250万円の資金調達を達成された。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<p>イノベーションを創出する起業家輩出の障壁として、2017年度の中小企業白書からは、「経営知識の不足」「資金方法がわからない」「事業構築経験がない」などがあげられている。NEXT産業創造プログラムでは、それら起業を阻む壁に対して、処方箋となるよう3つのステップから構成されるカリキュラムを提供している。本プログラムからは、クラウドファンディングを活用したリアルな資金調達や本地域を中心とした人や企業との繋がりが創出されている。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>今後は、NEXT産業創造プログラムだけでなく、新たな産業や企業の誕生、集積という目的を達成するためには、産業振興のグランドビジョンを産官学と広く共有し、連携していくことが必要不可欠である。</p>		
改善策	<p>令和4年度からは、産官学から構成される「NEXTふくちやま産業創造事業ネットワーク会議」を設置し、本事業の運営方針等に対する参考意見を産学の有識者から頂戴する場を設ける。本会議において、今後の本地域における産業振興ビジョンについて協議し、共有する。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>2022年はスタートアップ創出元年と位置付けられ、スタートアップ施策は社会課題の解決やインキュベーションを生む仕組みとして最も優れたスキームの1つとされている。本市におけるスタートアップの創出を加速させていくために、次年度より、「機運醸成」フェーズから「産業創出」フェーズに移行していく。各機関との連携を強化し、スタートアップが持続的に本地域に創出される循環「スタートアップ地域エコシステム」の構築をめざす。</p>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合      (統合事業名: — ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合      (統合先事業名: — )
--------	---